



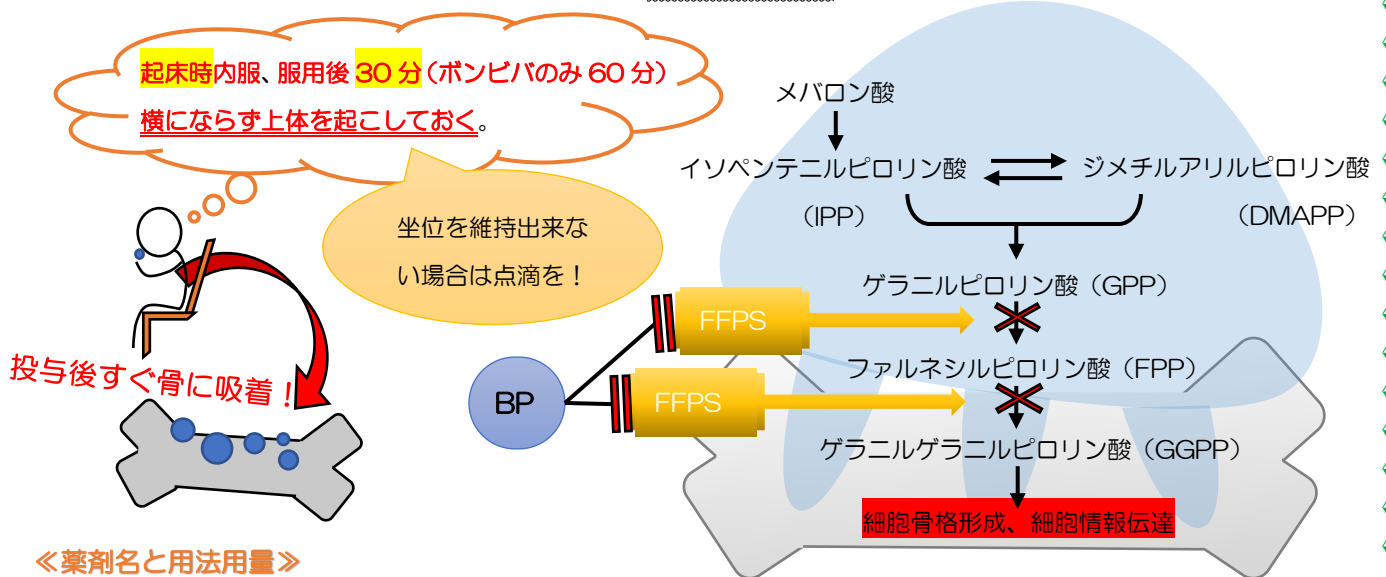
おくすり通信

No. 50 BP 製剤～骨粗鬆症治療薬～

こんにちは、薬剤科です。今回は、骨粗鬆症治療薬の中でも広く使用されているビスホスホネート系薬剤（以下BP製剤）についてご紹介します。

《BP製剤》

BP製剤は、破骨細胞内において**ファルネシルピロリン酸合成酵素（FFPS）**の活性を阻害します。その結果FPP、GGPPの産生を抑制し、細胞が形成されなくなることで破骨細胞の自己崩壊（アポトーシス）を誘導します。破骨細胞が少なくなると骨吸収が抑制され、骨代謝を緩やかにすることが出来ます。



《薬剤名と用法用量》

内服薬の場合、食べ物によって吸収を阻害されないよう空腹時（起床時）に水で服用することが必要です。また、食道に長く留まることで食道炎を起こすことがあるため、服用後は上体を起こした姿勢（坐位）を30分（または60分）維持しましょう。坐位が維持出来ない場合は点滴の使用が可能です。

一般名	商品名	特徴
エチドロン酸	ダイドロネル	周期的間欠投与が必要
アレンドロン酸	ボナロン	5mg錠：1日1回
		35mg錠、経口ゼリー：週1回
		注射：4週に1回
リセドロン酸	ベネット	2.5mg錠：1日1回
	アクトネル	17.5mg錠：週1回
		75mg錠：月1回
ミノドロン酸	リカルボン	1mg錠：1日1回
	ポノテオ	50mg錠：4週に1回
イバンドロン酸	ボンピバ	100mg錠、注射：月1回
ゾレドロン酸	リクラスト	点滴静注：年1回

週1回、月1回など特徴的な用法が存在する。

錠剤、経口ゼリー、点滴と剤形の種類が豊富なため患者様に合ったお薬を選択できる！

重度腎機能障害がある方には使用出来ないものがある。週1、月1であることを忘れ毎日服用してしまう可能性がある。

特徴的な副作用に顎骨壊死があり、定期的な歯科検診や口腔内を常に清潔に保つことが必要です。歯肉の腫れ、痛み、顎のしびれなど違和感がある場合は、早めの受診をお勧めします。

そのほか気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。